

一般社団法人粉体工学会
第58回技術討論会[講演ならびに出展募集]
「粉体成形プロセスに関する最新技術動向 ー造粒から成形までー」

主催：(一社)粉体工学会
共催：(一社)日本粉体工業技術協会
混合成型分科会
粒子積層技術分科会
造粒分科会
名古屋工業大学先進セラミクス研究センター

日時：2024年7月25日(木)-26日(金)(2日間)

会場：国立大学法人名古屋工業大学4号館ホール

〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町

<https://www.nitech.ac.jp/access/>

趣意

混合・混練・造粒・成形等の粉体プロセス技術は製薬・製剤技術、食品、セラミックスなど粉体が社会で利用される為に必要なキーテクノロジーである。しかしながら、それぞれの分野で技術は進化及び深化していて、必ずしも分野断的に技術や問題を議論する機会が少ない。そこで、本技術討論会では、日ごろ混合・混練・造粒・成形等の粉体プロセス技術に携わる研究者及び技術者が一同に会し議論する場を提供したい。また、混合・混練・造粒・成形等の粉体プロセス技術は産業分野ごとにかかなり完成されており、各社がニーズに合わせ細部を工夫し深化している。一方で3Dプリンターやシミュレーションが象徴するような新しい技術としての進化もある。これら『温故知新』と『最新技術』を混合・混練・造粒・成形等の粉体プロセス技術の「最近動向」として紹介し今後の粉体工学について議論したいと思う。また、混合・混練・造粒・成形等の粉体プロセス技術に関係する学の研究者も多いが、関連の産業スケールでの粉体機器等について知る機会が少ない。そこで本会を混合・混練・造粒・成形等の粉体プロセス技術をキーワードとした産学の交流の場としたい。以上の様に、本技術討論会では混合・混練・造粒・成形等の粉体プロセス技術をキーワードとして、産業分野、新旧技術、産学の言った交流を通して議論を行いたい。

オーガナイザー：藤 正督 (名古屋工業大学)、瀬戸 章文 (金沢大学)、
森 隆昌 (法政大学)、田原 耕平 (岐阜薬科大学)

講演種別

特別講演、依頼講演、一般講演、製品紹介講演を含む機器およびカタログの展示

◎ 本討論会での発表内容は講演要旨集に掲載されます(一般講演2ページ)。また、2025年5月発行の粉体工学会誌第62巻5号を、技術討論会特集号と致します。研究論文、技術資料など、特集号への多数の投稿をお待ちしています。投稿原稿は当学会規定に従い審査されたのち掲載されます。

申込締切日

一般講演、特集号投稿、出展(機器およびカタログ展示)、	広告	：2024年5月20日(月)
講演要旨(2ページ)、	広告(1ページ)原稿	：2024年6月21日(金)
粉体工学会誌特集号原稿		：2024年11月29日(金)
参加募集開始		：2024年6月中旬予定

申込方法

一般講演：WEBサイト <http://www.sptj.jp/event/tech/> よりお申し込みください。

講演要旨集の原稿作成に際してはホームページの「執筆要綱」をご覧ください。
粉体工学会誌技術討論会特集号への投稿希望の有無をお知らせください。

出展：会社名，連絡先（住所，部署，担当者名，TEL，FAX，E-mail）を明記のうえ，
下記申込先まで極力 E-mail（FAX，郵送でも可）でお申し込みください。
展示用パネル（予定）：約 1800（幅）×1800mm（高さ）（ボード部：1800×900mm）
装置・カタログ展示用テーブル（予定）：約 450（奥行き）×1800（幅）×700mm（高さ）
出展料（税込み）：55,000 円（展示用パネル 1 台，テーブル 1 台）

広告：会社名，連絡先（住所，部署，担当者名，TEL，FAX，E-mail）を明記のうえ，
下記申込先まで極力 E-mail（FAX，郵送でも可）でお申し込みください。
広告料：33,000 円（講演要旨集内に 1 ページ）出展・広告セット：66,000 円

参加費（税込み）：先行振込（2024 年 7 月 18 日（木）振込まで）
法人・個人会員：11,000 円，学生会員：5,500 円，非会員：16,500 円
当日支払（2024 年 7 月 19 日（金）以後当日まで）
法人・個人会員：14,300 円，学生会員：6,600 円，非会員：18,700 円

情報交換会：（開催予定）6 月中旬開始予定の参加募集時にご案内します。

申込先：一般社団法人粉体工学会
〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町 181 第 5 キョートビル 7 階
TEL：075-351-2318 FAX：075-352-8530 Email：office@sptj.jp

なお，講演申し込みおよび出展申し込みが予定数になりましたら締め切らせていただきます。
また，プログラム等の詳細は粉体工学会の WEB サイトにてお知らせします。